

事業所名 放課後等デイサービス みかづき

公表:令和 2年 11月 9日

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏 まえた改善内容又は改善 目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			日課を調整する等して、部屋を分けて活動している	活動によって部屋を分散して、1か所に集中しないようにスケジュールを考える
	②	職員の配置数は適切であるか	○			可能な限り死角をなくし、見守りを実施	次年度に向けて、1名以上の増員を計画
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		1階路面のテナントで室内も大きな段差なし	ユニバーサルデザインを意識して、使いやすさや安全に配慮した環境設定を検討
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			目標と評価時期を定め、具体的な数値目標を立てている	BSCの効果的な運用とKPIの適切な設定をスタッフが意識できるようにする
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			日々の連絡帳のやりとりでもニーズ把握できるよう努めている	アンケート調査以外にも随時意向や意見を日々の中で把握できる体制を築く
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか			○	活動内容やお知らせはHPを活用している	今回が初回の公開。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	特になし	次年度以降に前向きに検討する
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			施設内研修と外部研修を分けて計画し実施	外部研修への参加機会を確保するためにゆとりある人員配置ができるよう検討
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			随時意向を確認し、スタッフ間でも協議のうえ計画を作成	自発管が行うアセスメントを基本にして、それに対してスタッフ全員が目を通し改善していく体制とする
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○		自施設で作成したアセスメントシートを使用	学校、他事業所、相談室等と共有しやすいツールを使用するよう検討する
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			日々のミーティングや定例会議にて調整している	大枠を決める担当スタッフを配置し、会議にてプログラムの立案、決定をする
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			小集団での活動や制作等、飽きない仕組みを検討	動きのある活動や制作等を積極的に取り入れていく
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			計画に基づき、担当者が日、月別課題を設定	利用児童の増加、スタッフの拡充により休日や長期休業の設定も広げる予定
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			その他にも家庭と地域の支援項目を設定して計画	ソーシャルディスタンスと集団活動とのバランスを考慮した取り組みを検討する
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			毎日ミーティングを行い情報共有と役割を明確化	曜日やメンバーによって柔軟にスケジュールを変更、工夫できる体制をつくる

	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			毎回の振り返りの他、定例会議にケースを選出し協議している	翌日の朝のミーティングでも共有事項を確認し、勤務形態やシフトによる伝達もれがないよう留意する
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			個別に毎回の個別記録を作成	個別、自立、集団の項目別で記録を残し、求めに応じて開示できるようにする
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			再評価時期を定め、スモールステップを意識して見直し	概ね3カ月程度でのモニタリングと定期的な計画の見直しを実施する
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	○			パソコン特化と余暇、小集団やレスパイトを意図	外出機会や地域社会と繋がる取り組みやイベントを増やしていく予定
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか		○		他事業所への訪問や通所児童の情報共有の場は設けている。	相談室が支援しているケース自体が少なく、現時点で開催の実績はなし
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			学校のHPの確認の他、教諭や担当者との連絡調整を実施	学校の教諭との情報共有や事業所での活動場面の見学等を実施している
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか				該当なし	受け入れの予定なし。医療機関とはMSWを介したりして、医師の指示や意見を聴取できる体制を築く
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○		保育所等は連携実績なし。役割を知ってもらう広報活動は実施。	自発との連携あり 保育所等の実績なし
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか				該当なし	自立に目を向けた支援を展開できるよう、学校や他デイサービスだけでなく、就労移行支援等との連携を深めていく
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			おがる主催の研修や強度行動障がい基礎研修を受講	研修に開催における講師の派遣や、オンライン研修への参加について計画を立てる
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか			○	地域の児童館に挨拶まわりをしている。交流はなし	コロナ影響で計画できておらず、今後交流機会を検討する
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか			○	参加の表明をしているが、感染対策で実施なし	スタッフの積極的な参加を計画し、事業所間連携の強化や顔の見える関係を築く
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			毎回連絡帳を渡していることと、送迎時を利用して意見交換	どのスタッフが対応しても伝達や報告の質を保てるように情報共有と課題意識の統一に努める
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○	支援提供の体制と方法を検討	保護者会等と合わせて、対応方法や効果的な関わりについて学び合う機会を計画する

保護者への説明責任等	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に説明のほか、玄関内に掲示	利用相談の際に支援内容を視覚化した資料を用いることを検討
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			日々の連絡調整のほか、適宜面談を実施し相談体制を整備	感染防止に留意しつつ、定期的な保護者面談の計画を行う
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	多人数を集められないため、オンライン実施も検討	11月頃に実施予定 オンラインも計画
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情対応結果報告書を作成し、経過と結果を綴っている	運営に関する意見については、指摘や申し出があった内容と改善策を公表も検討する
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			HPでの告知、周知の他、メールを使用して随時発信している	利用児童の保護者のみ閲覧できるページの開設を検討
	③⑮	個人情報に十分注意しているか	○			同意書を個別に取得し、掲載の範囲も確認している	PRや広報への画像使用に関してより詳細な取り決め策定予定
	③⑯	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			児童にはツール検討、保護者には伝達媒体を複数準備	多忙な保護者にも対応できるよう電話のほかメールも使用
	③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			町内会への挨拶のほか、地域開放イベントを実施	昨年11月に実施。現在は感染対策を考慮して計画するに留める
非常時等の対応	③⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			職員はいつでも閲覧可能。保護者にはHPやメール等により周知	保護者も閲覧できるようHPへの掲載や適宜報告、周知するための体制を構築する
	③⑲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			避難訓練、避難場所の確認等を児童と実施	少なくとも半年に1回程度の計画をして、実施する曜日を変える
	④①	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			施設内において児童虐待、身体拘束の研修実施	外部研修の積極的な受講も検討する
	④②	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等サービス計画に記載しているか			○	同意書や運用の策定、研修は実施している。対象児童なし	身体拘束の撤廃を基本として、施設としての取り決めを契約前に説明する機会を設ける
	④③	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか			○	利用前の面談にて必ず確認し、おやつで提供しない	医師の指示書を用いた実績なく、ケースに応じて個別に実施
	④④	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか			○	危険性のある環境や行動の共有はしている	ヒヤリハット事例集は作成していなかったため早急に対応予定

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。